

令和5年度京都府立大江高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（ 計画段階 ）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>知・情・意・体の調和のとれた発達を図り、時代の変化に主体的に対応できる、日本や地域社会の未来を担う人間を育成する。</p> <p>1 確かな学力【知】 知識や技能の基礎基本の定着を図り、自ら学ぶ意欲と課題解決能力を育てる。</p> <p>2 豊かな心【情】 徳性を高め、豊かな感性や情操を培うとともに、ボランティア精神を養う。</p> <p>3 強い意志【意】 自らの進路や新しい社会を切り拓く強い意志とチャレンジ精神を養う。</p> <p>4 頑健な身体【体】 自他の生命を大切にし、健康でたくましく生きる体力を育む。</p>	<p>1 成果</p> <p>(1) 系統的・計画的な進路指導によって、15年連続となる就職内定率100%を達成した。</p> <p>(2) 地域創生科について、各系統が特色ある取組を進め、系統長会議等を活用して連携を図った。</p> <p>(3) 個々の生徒に応じた指導に丁寧に粘り強く組織的に取り組み、安心して過ごすことができる学校環境づくりを行った。特に、新型コロナウイルス感染症における感染拡大防止の取組については、適切に対応し、校内での感染拡大を防いだ。</p> <p>(4) 授業や部活動を通して、専門的な知識・技能を高める指導を行い、以下のとおり成果を収めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度全国高等学校総合文化祭写真部門出場</li> <li>・第71回京都府高等学校商業実務競技会団体第3位、個人第10位、新人賞</li> <li>・令和4年度高校生防犯動画コンテスト最優秀賞</li> <li>・令和4年度「税に関する高校生の作文」近畿税理士会福知山支部長賞</li> <li>・第18回IPA「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」2022 4コマ漫画部門優秀賞、ポスター部門優秀賞</li> <li>・京都府立中学高等学校商業教育研究会主催第35回ワープロ競技大会 団体準優勝、個人2等、3等、新人賞</li> <li>・令和4年度高写連作品審査会 佳作</li> </ul> <p>2 課題</p> <p>(1) 令和4年度で地域創生科が完成年度となったが、取り組んできた活動について内容・成果を点検し、さらに魅力ある取組とする工夫・改善することが必要である。</p> <p>(2) 生徒募集においては、一定の志願者があったが、定員の充足には至っていない。ホームページの更新や地域創生科ニュース、報道機関による広報等を通して工夫を継続することが必要である。</p> <p>(3) 「生徒一人一台の学習用端末」が導入され、GIGAスクール構想に対応したICT機器に係る効果的な活用方法の研究や研修を引き続き推し進める必要がある。</p> <p>(4) 新学習指導要領や第2期京都府教育振興プラン、府立高校在り方ビジョンに対応したスクールミッションを策定し、その実現に向けて教育内容の充実及び評価方法の工夫・改善を行い、より質の高い学力の育成に向けて取り組まなくてはならない。</p>	<p>1 教職員の気づく力を磨き、生徒理解や教育相談機能の充実を図り、特別支援教育の視点と人権尊重を基盤とした生徒の指導を通して、自己有用感や自尊感情を育み、人権感覚の涵養に取り組む。</p> <p>2 「地域創生科」の教育の成果を点検し、より魅力ある取組となるよう改善し、地元地域や関係機関及び事業所との連携を一層推進した本校ならではの教育活動を実践する。</p> <p>3 キャリア教育を一層推進し、具体的な取組を通して、豊富な知識とより高い技能を身につけさせ、思考力・判断力・表現力を育むとともに、学びに向かう力や人間性の陶冶に努める。また、主体的に地域において社会貢献できる人材の育成に努める。</p> <p>4 GIGAスクール構想に対応した「生徒一人一台の学習用端末」の活用を進め、個別最適な学びと生徒の主体的・協働的な学びを推進する。</p> <p>5 生徒の多様な学びの場として教育的意義が大きい部活動の活性化を図る。</p> <p>6 働き方改革を推進し、整理整頓等による職場環境の改善と業務の効率化を図り、諸課題に的確に対応できる組織づくりを進める。</p> <p>7 健康・安全教育、防災教育・環境教育を推進し、安心・安全な教育環境を構築する。場面に応じた適切な感染拡大防止対策を行いながら、できる限り多様な学びを進める。</p>

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題								
組織・運営	人権感覚の涵養を基盤とした教育の展開及び魅力ある学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒を取り巻く環境の些細な変化に気づき、早期発見、早期対応ができるよう、教職員間の連絡・報告・相談を密に図る。</li> <li>各系統の特色ある教育活動の一層の充実を図るとともに、校内外に広く発信する。</li> </ul> 〔学校経営計画における具体的方策の評価A及びBの割合〕 <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>80%以上</td> <td>70%以上</td> <td>70%未満</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	90%以上	80%以上	70%以上	70%未満		
		A	B	C	D							
90%以上	80%以上	70%以上	70%未満									
教務部	授業力向上	ICT機器を効果的に活用し、生徒の学力伸長を図ることができるよう推進する。 〔ICT機器を活用する教員の割合〕 <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100%</td> <td>80%以上</td> <td>60%以上</td> <td>60%未満</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	100%	80%以上	60%以上	60%未満		
	A	B	C	D								
100%	80%以上	60%以上	60%未満									
	効果的な広報の推進による志願者増	学校説明会、オープンスクール等の機会を通して、本校の魅力を中学生、保護者へ積極的にPRし、志願者の増加を図る。 〔前期選抜における募集定員に対する志願者の割合〕 <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100%以上</td> <td>70%以上</td> <td>40%以上</td> <td>40%未満</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	100%以上	70%以上	40%以上	40%未満		
A	B	C	D									
100%以上	70%以上	40%以上	40%未満									
事務部	生徒・教職員が安心・安全な学校生活を送れる環境づくり	短期経営目標に基づき、危険箇所等に対する迅速かつ適切な施設管理を行い、日々の美化清掃、整理整頓で教育環境の構築を図る。 〔教育環境改善への充足度〕 <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>95%以上</td> <td>80%以上</td> <td>50%以上</td> <td>50%未満</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	95%以上	80%以上	50%以上	50%未満		
	A	B	C	D								
95%以上	80%以上	50%以上	50%未満									
	組織的な学校運営	学年や分掌と連携し、学校課題の解決に向けた校内運営に参画し、教育内容充実のために適切な予算の計画的効果的な執行を図る。 〔教科・分掌予算の要望に対する充足度〕 <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>95%以上</td> <td>80%以上</td> <td>50%以上</td> <td>50%未満</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	95%以上	80%以上	50%以上	50%未満		
A	B	C	D									
95%以上	80%以上	50%以上	50%未満									

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題								
第1学年部	生活指導	<p>① 挨拶をする。時間を守る等、基本的な生活習慣を身につけさせる。            ② 地域創生科生としてふさわしい身だしなみをするよう指導する。            ③ 身の回りの整理整頓、私物の管理等、学習に向かう姿勢を育てる。            ④ 毎日登校できるよう、生徒の日々の言動に注意し、小さな変化を見逃さず指導する。同時に、必要に応じて家庭と連携を図る。            [学校評価表(質問10)の割合の学年平均]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>80%以上</td> <td>60%以上</td> <td>30%以上</td> <td>30%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	80%以上	60%以上	30%以上	30%未満		
A	B	C	D									
80%以上	60%以上	30%以上	30%未満									
第2学年部	学力の伸長と研修旅行をはじめとする学校行事への積極的な参加	<p>学校を休まず授業に主体的に参加させ、学力の伸長を図るとともに、研修旅行等の学校行事に積極的に参加できるように働きかける。            [研修旅行の満足度]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>75%以上</td> <td>60%以上</td> <td>60%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	75%以上	60%以上	60%未満		
	A	B	C	D								
90%以上	75%以上	60%以上	60%未満									
進路実現を意識したマナーアップとインターシップをはじめとする進路学習への意欲的な参加	<p>学年目標の「時間を守る、身だしなみを整え礼儀正しくする、教室を美しくする」を常に意識した学校生活を送らせる。また、進路目標が実現できるように進学講習や進路学習に意欲的に参加させ、自らの特性についてしっかり把握し、希望進路を決定させる。            [インターンシップの満足度]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>75%以上</td> <td>60%以上</td> <td>60%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	75%以上	60%以上	60%未満			
A	B	C	D									
90%以上	75%以上	60%以上	60%未満									
第3学年部	自律と自立	<p>生活規律を確立させ、ルール・モラルを遵守させると共に、計画的に行動させ、提出期限などを守らせる。            下級生を牽引し学校行事や部活動などで達成感を感じさせる。            [学校行事「学校祭」における満足度の割合]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>80%</td> <td>79%~65%</td> <td>64~50%</td> <td>60%以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	80%	79%~65%	64~50%	60%以下		
	A	B	C	D								
80%	79%~65%	64~50%	60%以下									
希望進路の実現	<p>1年間を通して授業を大切にさせる。            進路指導部・教科・保護者との連携を図り、進路指導を組織的に行う。            [卒業時点での進路未決定者数]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>0人</td> <td>1~2人</td> <td>3~4人</td> <td>5人以上</td> </tr> </table>	A	B	C	D	0人	1~2人	3~4人	5人以上			
A	B	C	D									
0人	1~2人	3~4人	5人以上									

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題								
保健部	教育相談機能の充実と特別支援教育の推進を図る。	<p>特別支援教育コーディネーターが中核となって、実態把握や教職員間の情報を共有し、SCやSSW、関係機関と連携を図りながらケース会議の充実に努める。</p> <p>〔ケース会議の回数〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>週1回以上</td> <td>月1回以上</td> <td>学期に2回以上</td> <td>学期に1回以上</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	週1回以上	月1回以上	学期に2回以上	学期に1回以上		
	A	B	C	D								
週1回以上	月1回以上	学期に2回以上	学期に1回以上									
健康安全教育の充実を図り、自ら健康管理ができる生徒を養う。	<p>保健指導や保健だより等を通して、健康安全に関する情報発信を行う。また、自らの健康状態を把握するため、始業前に健康観察を行う。</p> <p>新型コロナウイルス感染症等の感染症に対して適切な感染拡大防止対策が実行できるように指導する。</p> <p>〔保健だよりの発行の回数〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>月2回以上</td> <td>月1回以上</td> <td>学期に2回以上</td> <td>学期に1回以上</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	月2回以上	月1回以上	学期に2回以上	学期に1回以上			
A	B	C	D									
月2回以上	月1回以上	学期に2回以上	学期に1回以上									
生徒指導部	社会人基礎力の習得（身だしなみの向上）	<p>全ての教育活動を通して個に応じた身だしなみ指導を行う。挨拶、言葉遣いなど社会人として必要なマナー向上を目指す定期、不定期の点検及び生徒会とともに「身だしなみ向上週間」等の取組を実施する。</p> <p>〔身だしなみ点検・生徒会の取組回数〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10回以上</td> <td>8回以上</td> <td>6回以上</td> <td>5回以下</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	10回以上	8回以上	6回以上	5回以下		
	A	B	C	D								
10回以上	8回以上	6回以上	5回以下									
生徒の活力向上	<p>生徒会との連携や広報により部活動加入率を向上させるとともに、その活性化を図る。従来 of 行事・取組を充実させる。次年度に向け、実働率の調査を行う。</p> <p>〔部活動加入率〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>70%以上</td> <td>60%以上</td> <td>60%未満</td> <td>40%未満</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	70%以上	60%以上	60%未満	40%未満			
A	B	C	D									
70%以上	60%以上	60%未満	40%未満									
進路指導部	生徒の能力や適性、希望進路を理解し、進路実現を図るため、系統的かつ組織的な進路指導を行う。	<p>個に応じた面談やガイダンス、個別指導等きめ細かい指導を行う。</p> <p>〔3年次生の進路決定過程における進路指導に対する肯定的意見の割合〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>80%以上</td> <td>70%以上</td> <td>60%以上</td> <td>60%未満</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	80%以上	70%以上	60%以上	60%未満		
		A	B	C	D							
80%以上	70%以上	60%以上	60%未満									
<p>計画的・組織的に進路行事を実施し、進路意識を向上させる。</p> <p>〔1・2年次進路希望調査において、進路を明確にした生徒の割合〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>80%以上</td> <td>70%以上</td> <td>60%以上</td> <td>60%未満</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	80%以上	70%以上	60%以上	60%未満				
A	B	C	D									
80%以上	70%以上	60%以上	60%未満									

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題								
国語科	社会人基礎力につながる言語能力の向上	漢字・語彙・文法事項など、国語の基礎知識に関わる小テストを全学年で年間を通して定期的に行い、学力の定着を図る。 〔小テストの得点率〕 <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>80%以上</td> <td>60%以上</td> <td>50%以上</td> <td>50%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	80%以上	60%以上	50%以上	50%未満		
	A	B	C	D								
80%以上	60%以上	50%以上	50%未満									
鑑賞・表現力の向上と読書指導の充実	全学年を通して表現活動を積極的に取り入れるとともに、校内での掲示や校外のコンクールなど他者の評価を受ける機会を設けることで、資質能力の向上を目指す。また、学校図書館司書と協力し読書に慣れ親しむ態度を育成する。 〔コンクール等に作品を応募した回数〕 <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>6回以上</td> <td>4回以上</td> <td>2回以上</td> <td>1回以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	6回以上	4回以上	2回以上	1回以下			
A	B	C	D									
6回以上	4回以上	2回以上	1回以下									
地歴・公民科	学校設定科目の充実	地域の文化や歴史についての理解を深めるとともに、地域が抱える課題の把握・解決に向けた学習活動を関係機関と連携しながら行う。 〔授業アンケートにおける学校設定科目に対する生徒の肯定的回答の回数・割合〕 <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>80%</td> <td>60%</td> <td>50%</td> <td>50%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	80%	60%	50%	50%未満		
	A	B	C	D								
80%	60%	50%	50%未満									
主権者教育の充実	関係機関と連携しながら主権者教育を進めるとともに、全学年において主権者教育と関連させた授業と教材開発を積極的に取り組む。 〔全学年における主権者教育と関連させた授業の実施の回数・割合〕 <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>14回以上</td> <td>8回以上</td> <td>5回以上</td> <td>5回未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	14回以上	8回以上	5回以上	5回未満			
A	B	C	D									
14回以上	8回以上	5回以上	5回未満									

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題								
数学科	計算などの基礎学力の向上及び数学的な考え方を通した論理的思考力の習得	<p>生徒の実態をアセスメントしながら、体系的に分かりやすい授業を行う。数学が苦手な生徒に対しては補習を、得意な生徒に対しては進学講習等を行うことで、個に応じた教育の充実を図る。</p> <p>〔定期考査における平均点60点以上の講座数〕</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>7講座以上</td> <td>5講座以上</td> <td>3講座以上</td> <td>2講座以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	7講座以上	5講座以上	3講座以上	2講座以下		
	A	B	C	D								
7講座以上	5講座以上	3講座以上	2講座以下									
	教員の指導力及び専門性の向上	<p>教科会議を中心に、日々の教科担当者間の交流で各講座の状況を意見交換し、質の高い授業を維持する。また、ICTの活用や効果的な指導方法について協議し、授業力の向上を図る。</p> <p>〔ICT機器に関わる研修会や研究授業等の回数〕</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>10回以上</td> <td>6回以上</td> <td>3回以上</td> <td>2回以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	10回以上	6回以上	3回以上	2回以下		
A	B	C	D									
10回以上	6回以上	3回以上	2回以下									
理科	論理的思考力の向上	<p>思考・判断・表現を評価する際、授業または定期考査において、生徒が自身の考えについて、理由を含めて記述できるよう工夫する。</p> <p>〔記述できた生徒の割合〕</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>60%以上</td> <td>40%以上</td> <td>20%以上</td> <td>20%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	60%以上	40%以上	20%以上	20%未満		
	A	B	C	D								
60%以上	40%以上	20%以上	20%未満									
	理科に対する興味・関心の向上	<p>実験・観察を積極的に行う。その際、生徒に結果を予測させ、その結果が予測と比べてどうなっていたかを考えさせる機会を設ける。</p> <p>〔実験の回数〕</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>9回以上</td> <td>6回以上</td> <td>3回以上</td> <td>3回以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	9回以上	6回以上	3回以上	3回以下		
A	B	C	D									
9回以上	6回以上	3回以上	3回以下									
保健体育科	運動技能の向上及び体力の向上	<p>自己の運動機能や体力の課題を見つけ体力の向上を図る能力を育成する。</p> <p>〔スポーツテストの判定が向上した生徒の割合（2、3年次）〕</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>50%以上</td> <td>40%~30%</td> <td>30%以上</td> <td>20%以上</td> </tr> </table>	A	B	C	D	50%以上	40%~30%	30%以上	20%以上		
	A	B	C	D								
50%以上	40%~30%	30%以上	20%以上									
	ICT機器を活用した授業の実施	<p>ICT機器を活用し、座学に限らず、視覚にも訴え、よりわかりやすい授業を展開する。</p> <p>〔保健・体育におけるICT機器を活用した講座の割合〕</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>100%</td> <td>80%以上</td> <td>50%以上</td> <td>50%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	100%	80%以上	50%以上	50%未満		
A	B	C	D									
100%	80%以上	50%以上	50%未満									

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題								
英語科	個々に応じた英語力の向上	<p>日々の授業を大切にさせると共に、ワークシート、単語テストや課題に取り組み家庭学習の習慣を確立し進学講習の充実も図る。 また、実用英語技能検定の受検を推進する。</p> <p>〔英語検定試験受件数〕</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>5人</td> <td>3人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> </table>	A	B	C	D	5人	3人	1人	0人		
	A	B	C	D								
5人	3人	1人	0人									
言語活動の活性化	<p>AETを効果的に活用し、コミュニケーション能力を育成する。 授業中にパフォーマンステストを実施し、言語活動を推進する。</p> <p>〔パフォーマンステストの回数〕</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>3回</td> <td>2回</td> <td>1回</td> <td>0回</td> </tr> </table>	A	B	C	D	3回	2回	1回	0回			
A	B	C	D									
3回	2回	1回	0回									
家庭科	基礎的・基本的な知識と技術の習得させる	<p>授業を通し、生活に必要な知識と技術を習得させ、家庭生活を充実向上させる能力と実践的な態度を育てる</p> <p>〔定期考査や授業・ワークシートにおいて学習内容を理解している割合〕</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>70%以上</td> <td>50%以上</td> <td>50%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	70%以上	50%以上	50%未満		
	A	B	C	D								
90%以上	70%以上	50%以上	50%未満									
生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる	<p>実習を通し、実践的・体験的な活動を行うことで「生きる力」を身に付け課題を解決するために工夫し自立的に生きる基礎を培う。</p> <p>〔実習に意欲的に参加し、実習内容を家庭生活で生かす実践力を身に付けている割合〕</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>70%以上</td> <td>50%以上</td> <td>50%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	70%以上	50%以上	50%未満			
A	B	C	D									
90%以上	70%以上	50%以上	50%未満									

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題								
情報科	情報の科学的な理解及びプログラミング的思考並びに情報活用実践力の育成	<p>様々な事象を情報とその結び付きの視点から捉え、抽象化し把握することで情報の科学的な理解を習得する。さらに、情報技術を活用し、問題の発見・解決に情報技術を適切かつ効果的に活用し発信・伝達できる能力を育成する。</p> <p>〔プレゼン実施を含めた実習課題の提出率及び正答率〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>80%以上</td> <td>70%以上</td> <td>50%以上</td> <td>50%未満</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	80%以上	70%以上	50%以上	50%未満		
	A	B	C	D								
80%以上	70%以上	50%以上	50%未満									
情報社会に参画する態度の育成	<p>社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報に対する責任について考え、望ましい情報社会の創造に参画しようとする態を育成する。</p> <p>〔提出物の非コピー率を解析した結果の割合〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>80%以上</td> <td>70%以上</td> <td>50%以上</td> <td>50%未満</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	80%以上	70%以上	50%以上	50%未満			
A	B	C	D									
80%以上	70%以上	50%以上	50%未満									
農業科	農業の社会的な意義や役割の理解及び持続的かつ安定的な農業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度の育成	<p>環境に対応した花卉・野菜を栽培し、教材として4つの学校花壇を整備し、美しい環境を整備させる。地域へも花苗の提供を行い、地域の環境美化に貢献する。</p> <p>〔学校花壇整備の回数〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7回以上</td> <td>5回以上</td> <td>3回以上</td> <td>3回未満</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	7回以上	5回以上	3回以上	3回未満		
	A	B	C	D								
7回以上	5回以上	3回以上	3回未満									
探究活動による地域創生教育の実践の推進	<p>環境サイエンス系統の実習として、以下の5項目が進捗したかを、授業時数で評価する。①実験的な栽培農場15h ②鉢物栽培15h ③水耕栽培15h ④温湿度の管理をするスマート農業10h ⑤地域資源活用5h</p> <p>〔上記授業の実施割合〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>80%以上</td> <td>60%以上</td> <td>40%以上</td> <td>40%未満</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	80%以上	60%以上	40%以上	40%未満			
A	B	C	D									
80%以上	60%以上	40%以上	40%未満									



評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題								
商業科	探究活動による地域創生教育の実践	<p>商業教育による探究活動を通して、課題解決ができる能力を養う。その過程として、調査や分析、検証を重ねることで思考力・判断力・表現力を育成する。</p> <p>〔外部機関との連携回数〕</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>7回以上</td> <td>5回以上</td> <td>3回以上</td> <td>3回未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	7回以上	5回以上	3回以上	3回未満		
	A	B	C	D								
7回以上	5回以上	3回以上	3回未満									
効果的な広報活動の推進	<p>地域と連携し、制作した映像コンテンツやポスターなどによる広報活動を展開する。同時に、SNSを活用した配信方法を検証し、効果的な広報活動を実践する。</p> <p>〔広報実習（YouTube配信実習）に関する生徒アンケートの満足度〕</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>80%以上</td> <td>60%以上</td> <td>60%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	80%以上	60%以上	60%未満			
A	B	C	D									
90%以上	80%以上	60%以上	60%未満									
福祉科	福祉に関する基礎的・基本的な知識の習得	<p>社会福祉に関する基礎的・基本的な知識を習得し、地域が抱える福祉の諸課題の解決のため、レポートや発表、実習等を通して、主体的に社会参画を行える力を育成する。</p> <p>〔授業アンケートにおける生徒の肯定的回答の割合〕</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>70%以上</td> <td>50%以上</td> <td>50%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	70%以上	50%以上	50%未満		
	A	B	C	D								
90%以上	70%以上	50%以上	50%未満									
実習の充実	<p>地域の福祉に関する関係機関と連携し福祉の実習内容をより充実させる。</p> <p>〔授業アンケートにおける生徒の肯定的回答の割合〕</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>70%以上</td> <td>50%以上</td> <td>50%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	70%以上	50%以上	50%未満			
A	B	C	D									
90%以上	70%以上	50%以上	50%未満									